

質問日 令和元年6月14日（金）

質問順位1 金子 裕太 （一問一答式）

1 教育行政

- (1) グローバル人材育成のための、学校教育における異文化理解促進について
  - ア 異文化理解促進のための現在行っている施策について
  - イ こうのす花火大会での国際交流について
  - ウ 学校給食における食での異文化交流について
  - エ 在住している外国人との交流について
- (2) 海外派遣事業の今後について
  - ア より多くの生徒へ機会を提供するため、現在の海外派遣人数を増やす考えはないか
  - イ 言語研修以外での専門研修（スポーツや芸術等）を行う予定はないか

2 市長政策行政

- (1) 広報戦略について
  - ア 現在の広報手段について
  - イ 広聴・広報組織体系について
  - ウ 広聴・広報戦略の戦略について
  - エ インバウンド対応について
- (2) 県央地域と協力した広報活動について
  - ア これまでの取組について
  - イ 今後の取組について

質問順位2 橋本 稔 （一問一答式）

1 市民生活行政

- (1) 自転車の安全対策について
  - ア 自転車事故対策とその周知について
  - イ 安全教育の取組について
  - ウ 埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例について
  - エ 自転車保険加入の促進の取組について

2 都市建設行政

- (1) 産業団地について

- ア 現在の状況について
- イ 優位点について
- ウ 企業誘致の取組について

### 3 環境経済行政

- (1) 食品ロスについて
  - ア 食品ロス削減推進法について
  - イ フードバンクについて
  - ウ フードドライブについて
- (2) 子育て支援リユース事業について
  - ア 子ども服リサイクル事業について

**質問順位 3** 潮田 幸子 (一問一答式)

### 1 市民生活行政

- (1) 自然災害時における、市民の命・くらしを守る危機管理について
  - ア 近年の集中豪雨による市内被害状況
  - イ 冠水被害等に対し、現在行っている市の対策
  - ウ 国の「緊急自然災害防止対策事業費」を活用できないか

### 2 健康福祉行政

- (1) 熱中症予防対策の強化について
  - ア 近年の熱中症による救急搬送等の状況とその傾向
  - イ 熱中症予防の取組の現状
  - ウ 埼玉県「効果的な熱中症予防対策支援事業」を活用する考え
- (2) 糖尿病重症化予防策について
  - ア 本市における糖尿病及びその合併症の罹患状況と医療費の現状
  - イ 「健幸こうのす」として糖尿病重症化予防への取組
  - ウ 埼玉県「市町村独自の取組への支援」を活用する考え

### 3 こども未来行政

- (1) 夏休み期間の放課後児童クラブ（長期休業期間限定児童クラブ）開設について
  - ア 4ヶ所に集約して行うことについて利用者からどのような声が上がっているか
  - イ 各放課後児童クラブで受け入れることができない理由について
  - ウ 学校プールに行けない等の課題にどう対応するか

質問順位 4 坂本 晃 (一括質問・一括答弁式)

1 都市建設行政

(1) 茜通り延伸整備事業について

- ア この事業の全体的な計画はどのようになっているのか
- イ 令和元年度の予定はどのように考えているのか
- ウ 昨年12月議会の答弁で、「混乱と迷惑をかける」こととはどのようなことなのか

2 市長政策行政

(1) 第6次鴻巣市総合振興計画について

- ア 基本構想の変更についてはどのような手続きが必要と考えているのか
- イ 第3章土地利用構想の中で、交流・産業ゾーンから沿道サービス地ゾーン(検討ゾーン)、工業・流通地ゾーンへ内容が変更になることについては基本構想の変更にあたらないのか

質問順位 5 菅野 博子 (一問一答式)

1 都市建設行政

(1) 鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業

- ア 実態は行政が決めたことを組合施行で行わせるのは、行政の負担やリスクの軽減であり不当な手法である。なぜ市施行で行わないのか
- イ 1,850㎡のE地区の土地を市は防災もどきの公園を作るなど変わった(保留地→更地→公園)。個人の財産分は分有分棟も認めた本来の事業にかえるべきではないか
- ウ 適正な課税とすべきではないか
  - (ア) 本町1丁目2829番地4は登記簿上は98.54㎡を2倍の197.08㎡で補償された。しかも「公図の訂正」を市が「課税上の支障」として訂正代行までしている。ロフトがあるが本来50%しか認められていない。いつからこの様な事態となったのか。固定資産税を追徴すべきではないか
- エ 適正な権利変換がされたか状況の説明をすべきではないか
  - (ア) 2階のさくら保育園は認可申請もしていない。過大な税投下の床であるならばどこへ売ったのか
  - (イ) スマイルハウスはわずかな権利なのに三人の権利者を立て商業床を3画取得した。この手法は正しいか
  - (ウ) 民々契約などと言って権利変換認可前に解体し、存在しない建物の補償に補助金が出ている法的根拠があるか

(エ) 一方で2017年3月と7月解体同意書を結び、鍵も組合へ渡し12月には囲いがされた。2018年1月6日解体した。2018年1月1日建物は存在したが「用途性」を満たさない建物になぜ課税か。(2017年3月24日には組合に帰属していた。2018年4月～2019年3月までの課税がされている)

## 2 健康福祉行政

- (1) 高齢者福祉センター白雲荘・コスモスの家・ひまわり荘の入浴施設に4月1日より石けんがなくなった理由は。石けんが欲しいとの要望が出されている
- (2) 難聴の放置が「認知症」の要因になる。早期の補聴器使用に補助制度を導入すべきではないか

## 3 教育行政

- (1) 小学校の教育について
  - ア 授業時間数の増加に文部科学省の見直しを求める通知への対応を問う。学力テストがどの様に授業に活かされているか
  - イ 教職員の長時間労働と小学校の英語・プログラミング教育の導入の実態を問う
- (2) 友好都市福島県金山町の「川口高校」入学を毎年金山町の職員や教育委員会の方がすすめて来ているが、市の教育現場でどの様に取り組みられているか